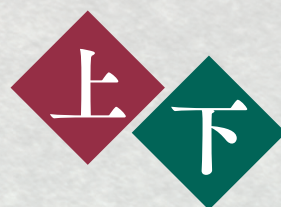


——名古屋大学創基 150 周年・創立 80 周年記念出版——

名古屋大学 の歴史

1871~2019



名古屋大学〔編〕 以下、執筆者一覧（五十音順）

伊藤 彰浩	大学院教育発達科学研究科教授
齋藤 芳子	高等教育研究センター助教
榊原 千鶴	男女共同参画センター教授
恒川 和久	大学院工学研究科教授
羽賀 祥二	名誉教授
堀田 慎一郎	東海国立大学機構大学文書資料室特任助教
松尾 清一	第14代総長、東海国立大学機構長
吉川 卓治	大学院教育発達科学研究科教授

定価 税込各 2,970 円 / 本体各 2,700 円

ISBN978-4-8158-1063-4 (上)

ISBN978-4-8158-1064-1 (下) C0000

A5 判・並製・284+320 頁 2022 年 4 月刊行

「名大」に歴史あり——
どのように生まれ、変化してきたのか。
教育・研究・大学生活・キャンパスの変遷
を、組織の沿革とともに一望できる通史。
上巻では、1871年の「創基」から、
帝国大学の時代、新制大学としての出発
を経て、1980年代までの歩みをたど
り、下巻では、教育・研究体制の大改革
から、国立大学法人化を経て、「東海国
立大学機構」設立までの展開を跡づける。
写真も多数掲載。

第一編 名古屋帝国大学創立までと草創期 一八七二～一九四九

第1章 創基から官立大学まで

- 1 医学学校の時代
- 2 専門学校から医科大学へ

第2章 旧制高等教育機関の系譜

- 1 第八高等学校
- 2 名古屋高等商業学校
- 3 岡崎高等師範学校

第3章 名古屋帝国大学

- 1 名古屋市の発展と帝国大学設置運動
- 2 草創期の名帝大
- 3 敗戦後の名帝大と学風形成

第二編 新制名古屋大学の発展 一九四九～一九八九

第4章 新制名古屋大学の出発

- 1 初期の新制名古屋大学
- 2 新制大学院の設置

第5章 教育・研究の発展

- 1 教育・研究組織の拡充と改革
- 2 入試制度の変遷
- 3 カリキュラムの変遷
- 4 先端研究の進展

第6章 名大生とキャンパス

- 1 名大生の諸相
- 2 キャンパスの整備

第7章 名古屋大学像の模索

- 1 伊勢湾台風と安保闘争
- 2 大学紛争と名古屋大学
- 3 時代のなかの名古屋大学
- 4 外国人留学生と国際交流

(以上上巻)

第三編 変貌する名古屋大学 一九九〇～二〇〇三

第8章 教育・研究体制の大改革

- 1 教養部の廃止と四年一貫教育の開始
- 2 部局の再編と大学院重点化

第9章 基幹的総合大学の研究

- 1 競争的研究資金の拡充
- 2 先端研究の基盤環境
- 3 産学官連携の強化
- 4 国際的研究への展開
- 5 研究成果の発信

第10章 学生生活とキャンパスの変容

- 1 バブル崩壊後の名大生
- 2 国際性豊かな学風の確立
- 3 キャンパスの再開発

第11章 法人化への道

- 1 理念の確立と法人化の準備
- 2 法人化に向けての組織再編

第四編 法人化後の名古屋大学 二〇〇四～二〇一九

第12章 国立大学法人名古屋大学、そして東海国立大学機構へ

- 1 法人化後の大学運営
- 2 教育・研究体制の見直し
- 3 世界卓越型大学への改革

第13章 世界屈指の大学への道

- 1 持続可能な社会を目指して
- 2 日本屈指から世界屈指の研究を
- 3 統出するノーベル賞
- 4 人文・社会科学研究への評価の高まり

第14章 名古屋大学からNagoya Universityへ

- 1 グローバル大学への道
- 2 国際化の諸相

第15章 連携と貢献

- 1 産学官連携体制の充実
- 2 社会とのつながりのなかで
- 3 男女共同参画への取り組み

第16章 最近の学生生活とキャンパス

- 1 法人化後の名大生
- 2 現在のキャンパス環境へ

終章 これからの名古屋大学

目次

